

市民ネットワーク 市議会速報

連絡先：さくら・市民ネットワーク
電話：043-462-0618
FAX：043-489-0797
メール：news@sakura-siminnet.com

2023年
7月31日発行



五十嵐ともみ 伊藤とし子 松島こずえ

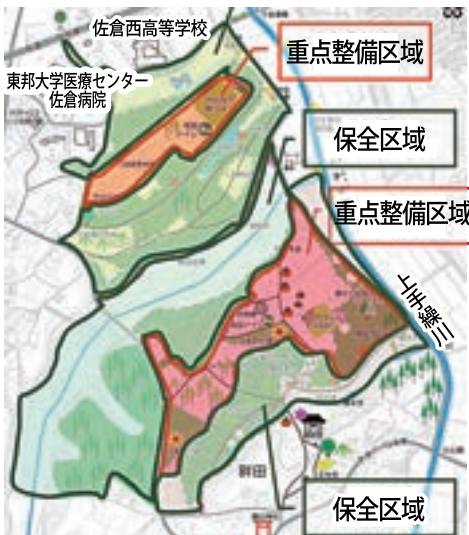
6月市議会 (6/12～7/3)

2期目も止まらない 土地購入

佐倉里山自然公園内の土地購入

東邦病院裏手に広がる73.8haの旧(仮)佐倉西部自然公園用地。民有地と公有地が混在し、境界確定も済んでいません。今年度は重点整備区域(赤枠)内の2haを6,695万円で購入し、残り約9haも順次購入予定との事です。更に、残りの保全区域の私有地27.3haも同様に進めるとの事で、ざっと見積もっても総額12億円もかかりますが、土地購入の明確な目的は決まっています。

西田市政1期目は土地購入や大型公共工事で100億円事業を打ち出し進めてきましたが、2期目に入っても土地購入は止まりません。物価高で市民生活は大変です。大型公共事業一辺倒から福祉、子育て、教育に優先度を変更すべきです。



赤枠は民間活用の重点整備区域。
緑は保全区域

部活動が変わる —地域へ移行—

文科省は、公立中学校で、教員が担っていた休日の運動部の部活動指導を、地域の団体や民間企業などに移行する改革を進めています。移行は今年度から始まり、2026年度までに段階的に行っていく予定。この背景には、教員の負担軽減や生徒数の減少で部活動が維持できない問題があります。



地域移行で年間の登録料や毎月の参加費用が保護者負担となります。事故やトラブルがあっても学校の責任は問われず、教育の一環としての部活動が変わってしまいます。佐倉市では、今年度は臼井中学校の陸上部を移行し、来年度から次々に移行する予定ですが、今後どう取り組んでいくか、しっかり注視していきます。

オンライン学習会
「中学校のフカツがなくなる!?」
～部活の地域移行～
8月26日(土)16:00～18:00



申込みはこちらから ↑

市長が恫喝!?

5月に「オーガニック給食の早急な実現を求める要望書」と、集めた署名を市長に提出。その際、市長は「給食センターで一括調理の方が、オーガニック給食を進めやすいこともある」と発言。佐倉市は各小中学校で調理する、自校式給食が大きな特徴です。温かい給食を食べられることや、食育の観点からも自校式給食は守るべきです。オーガニック給食実現のために、自校式給食がなくなるとは本末転倒です。

6月議会でそのことを質問すると市長は、「署名提出のような、限られた出席者のフランクな場で言ったものを、私の意思であるかのような表現は、市民に誤解を与える。今後の対応も合わせて考えさせていただきます」と声を荒げて答弁。市民から、「これは恫喝ではないか」と声が上がりました。発言撤回を求める抗議文を市長に提出しましたが、回答はありません。

次々とトラブル続きのマイナンバー

法律改正により、全ての戸籍や住民票、マイナンバーカードなどに読み仮名が付けられます。公金受取口座や健康保険の誤登録が続出したためですが、1億3千万人に読み仮名をつける作業は市町村の仕事で、困難が予想され、更なるトラブル発生が危惧され

ます。

現在、マイナ保険証の誤登録で他人の医療情報による治療や投薬される事態も発生しています。カードは作ったけれど心配だからと返納運動も起きています。「書かない番号、持たないカード」で自分の情報を守りましょう。

